



すぎなみ

教育報

第176号
 平成17年3月10日
 発行 杉並区教育委員会
 杉並区阿佐谷南1-15-1
 ☎ 3312-2111 FAX 5307-0692
 教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
 区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

平成17年
 4月
 スタート!

いよいよ始動!

杉並区の小中一貫教育



平成17年4月より中学校1校、小学校2校において
 小中一貫教育を試行します。今号では、行われる教
 育内容、そのねらいなどをわかりやすくご紹介します。



いつから
実施されるの?

平成17年4月から



どの学校で
実施されるの?

和泉中学校、
新泉小学校、和泉小学校



杉並区の
小中一貫教育の特色は?



なぜ
実施するの?

将来社会人として自立し、活躍・貢献できる資質・能力を身に付けさせるために、小・中学校や学年の枠を超えて、習熟が不十分な学習内容に対する指導の徹底や、9年間を系統立てて「21世紀に求められる力」のスキル等を育てることを目的としています。

杉並区の小中一貫教育実施校では、次のような特色ある時間を設けます。

基礎の時間

基礎・基本の定着を目指し、習熟の必要な内容を取り出した教材を用い、不十分な内容に立ち返ったり、発展的な内容に取り組んだりします。

学ぶ力・生きる力を はぐくむ時間

21世紀に求められるコミュニケーション力や自己認識力、全体把握力、課題解決力等を活用できるスキルを身に付け、社会において自立し、貢献できる資質や能力を養います。

小学校における英語教育の実施と 中学校における英語によるコミュ ニケーションを中心とした授業

英語を聞くこと、話すこと等の実践力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるとともに、国際理解の基盤となる資質、能力を養います。

小学校における英語教育の実施については、平成17年1月に構造改革特別区域の申請を行っています。



杉並区の
小中一貫教育の
今後の予定は?

平成17年度からの試行を通して、順次中学校を核として拡げていく予定です。

問い合わせ先：指導室

▶「サイエンス・ウィーク」を開催します
 科学ビデオ上映、プラネタリウムの投映や科学実験教室を行ないます。入場は無料です。
 開催期間：3月26日(土)～30日(水)(27日を除く)
 問い合わせ先：科学館 ☎ 3396-4391

3月1日から 杉並区公共施設予約システム「さざんかねっと」に、スポーツ施設が加わりました



これまでの区スポーツ施設の電話予約システム「すば一つ・ねっと」が、3月1日から段階的に(6月使用分の一時抽選申込みから)インターネットでも予約できるようになりました。名称は、「さざんかねっと」です。問い合わせは、各スポーツ施設、(財)杉並区スポーツ振興財団または、社会教育スポーツ課社会体育係へ。

施設の予約

現在の「すば一つ・ねっと」の登録番号と暗証番号は、そのまま利用できますので新たな手続きは必要ありません(未登録の方は各体育施設の窓口で登録手続きが必要です)。

5月使用分までは現行の「すば一つ・ねっと」での施設予約です。3月6日からの6月使用分一次抽選申込みは「さざんかねっと」になります。

3月から5月までは、現行の「すば一つ・ねっと」と新「さざんかねっと」の二つのシステムを使います。この期間に抽選申込みなどをされる場合はそれぞれのシステムをご利用ください。現行の「すば一つ・ねっと」は5月をもって廃止します。

新システムの抽選日程や施設番号・種目番号などは、これまでと同じです。

夢の学校プロジェクト2005 in すぎなみ 中学生が考える「夢の学校」、個性豊かなドリーム講師陣がサポート



「夢に向かって」の講座を担当した水泳選手の田中雅美さん

3月6日から始まった本プロジェクトは、シドニー五輪メダリストの田中雅美さんやプロ野球スト問題で奮闘した弁護士・石渡進介氏など、社会の第一線で活躍する文化人・実業家を講師に迎え、中学生が「夢の学校」について6日間にわたって考え抜く講座です。

今年度教育委員会では、授業改革、学校改革をテーマにした「教育改革ひろば」や教育委員会制度の是非に切り込んだ「すぎなみ自治のつどい」を開催してきました。

本プロジェクトは、こうした教育改革の発信事業の一環として実施するものです。子どもたち自身が自分たちの考えを表現する絶好の機会となるでしょう。

平成16年度教育委員会の各表彰者決定

小中学校、養護学校の児童生徒の文化活動に関する優秀な成績をたたえ表彰する文化栄誉顕彰、体育大会などにおいて優秀な成績を取った方々に対し、その栄誉を表彰するスポーツ栄誉顕彰、優れた教育活動、研究などを行った教職員を表彰する教育表彰の受章者及び団体が決定しました。

教職員表彰は2月14日、文化栄誉顕彰は3月1日に表彰式を行いました。各表彰の表彰者及び功績については、教育委員会ホームページをご覧ください。(スポーツ栄誉顕彰は、表彰式3月18日以降にホームページに掲載します。)

受章者のみなさん、おめでとうございます!



夢の学校プロジェクト2005 in すぎなみ 発表会

日時: 平成17年3月29日(火) 午後2時から
場所: 区役所中棟6階 第4会議室
多くの方のご来場をお待ちしております。
問い合わせ先: 庶務課

平成17年度教育委員会重点施策を策定しました

教育委員会では、平成17年度教育委員会重点施策を策定しました。これは、杉並区教育ビジョンの柱となるものや、すぎなみ五つ星プラン(杉並区基本計画・実施計画)の教育分野に関する事業のうち保護者や区民の皆様と関係の深いもの、17年度予算上特に重要なものなどから30施策程度に絞り策定したものです。

(重点施策の例)
キャリア教育の推進
小学校からの進路指導を含めた「キャリア教育*1」導入の研究を進め、プログラムを作成する。
*1...キャリア教育=児童・生徒一人ひとりの労働観、職業観を育てる教育のこと。

安全・防災教育の推進、危機管理体制の強化
セーフティ教室*2を充実し、子ども達の自らを守る意識や力を高めるとともに教職員の実践力を強化する。
(仮称)中学生レスキュー隊*3を結成し、中学生の防災意識を高める。

学校、地域、警察等関係機関との連携、学校支援隊*4の設置を推進し、不審者対策など学校の危機管理体制を強化する。
*2...セーフティ教室=各小中学校において、犯罪に巻き込まれないための身の守り方などについて、児童・生徒に対し、講師である警察職員が教えるもの。

*3...(仮称)中学生レスキュー隊=区立学校の生徒会活動または部活動の1つとして編成し、災害時には中学生が区民を守る、あるいは、支援する側になれるよう訓練する。
*4...学校支援隊=区立小中学校に在籍する児童・生徒の在学中の安全を確保するため、学校ごとに保護者や通学区域及び周辺住民らで組織する。正式には「小(中)学校(=学校名)安全支援隊」という名称になる。主な活動としては、校舎や敷地内、学校周辺等の巡回、地域防犯自活動団体との連携など。

大人の相互学習による学びの場づくり
自分たちで自分のまちをつくる大人の支援を目指し、相互学習により自発的に知識や経験を活かし地域課題解決を考案した活動ができるよう、「現代大人塾*5」などの学びの場づくりを進める。

*5...現代大人塾=「地域の課題は自分たちの課題」を合言葉に、参加者相互の学習や討論を基本にしながら、専門家のアドバイスや講義を交えて、「まちのコミュニケーション」などをテーマに課題解決に必要なネットワーク構築と実践を深めていく長期講座。

(重点施策の全文は、教育委員会ホームページにてご覧いただけます。)

問い合わせ先: 庶務課



杉並区中学校対抗駅伝5周年記念大会 結果報告

Text describing the relay race event and a table of winners.

Table with columns for '区間賞' (District Award) and '入賞チーム' (Awarded Team) with names of participants.

先生たちの工夫がいっぱい 教職員教材教具開発展

3回目になる教職員教材教具開発展。2月14日から3月4日まで済美教育研究所で開催されました。杉並区の小中、養護学校の先生たちが日頃から「わかる授業」を行うために工夫し製作した教材、教具28点を展示し、区民の皆さんに見ていただきました。

展示作品の形態は様々で、パソコンのwebページ教材もあれば、既存のものを活用し教材に変身させたものもありました。例えば、家庭科でナップザックを製作する授業で活用された製作過程と拡大見本。先生の説明だけではなかなか理解できない子ども、このような見やすい見本があれば作業もスムーズに行えます。また、小学4年生の算数で学習する1平方キロメートルの単位面積を、より実感して学習させようと工夫された地図。杉並区が記された既存の地図ですが、その上に単位ネットを重ねると、体験と結びつけることで子どもたちの住んでいる地域の広さがより理解できる教材に変わります。

展示されている作品には、特殊な素材、高価な材料を使ったものはあり

ません。画用紙や牛乳パックなど身近なもので作られていますが、どの作品にも先生たちの懸命に練られたアイデアや熱意がこもっていました。この展示会は毎年行われています。来年は皆さんも展示作品を通して、先生たちの工夫やアイデアに触れてみてください。



算数の教具「王様の宝物」。牛乳キップで作った金貨を操作することでおもしろい! 成り立ちや書き順がわかるカードで漢字指導をスムーズに。「かんじっでおもしろい!」

幼小連携教育のスタートに向けて 幼小合同研究授業を実施しました



杉並区は平成17年度より杉並第四小学校と高円寺北幼稚園で幼小連携教育のモデル事業を開始します。それに向けて、小学校、幼稚園の保護者等が参加する「幼小連携準備委員会」では連携について検討を行ったり、「保護者だより」を作成し保護者への周知を行ったりしています。

開催期間: 平成17年3月12日(土)~平成17年5月8日(日)
開催時間: 午前9時から午後5時(入館は4時半まで)
場所: 郷土博物館特別展示室 問い合わせ先: 郷土博物館 ☎ 3317-0841

教育委員からの発信

長野県教育に学ぶ

今年度の「教育委員会からの発信」では、「杉並区の教育改革」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。... 長野県教育に学ぶ... 昨春以降、教育委員会と区長部局とが一体となり推進する、杉並区の教育立国の構想立案と実施の必要性が叫ばれ、以前からの教育改革アクションプランを見直し、立区に係わる教育の目標と方針をまとめた教育ビジョン案を示した。すでに、区民への公表、意見聴取も終わり、二月には成案を得たし、基本条例も制定されていく予定である。今後、教育ビジョンの他、基本的内容と枠組み、教員や教員の関連組織、施設や校庭・設備、付置施設、財源、地域社会との連携、目標到達期間等の検討も必要になるが、具体的なイメージを描くことも急務になる。そこで、長野県を事例にあげ、一端を探る。かつての長野県は教育県として全国に名をとどろかせた。事実、江戸末期の信州には、日本で最も多くの寺小舎があり、明治六年の学制施行以降には、県および自治体は学校を新築すると共に就学を促す一方、望まれる教員を確保したり、多額の教育支出を費やした。その結果、県全体の教育に対する理解がなされ始め、その後、長い年月にわたる教員や関係者のみならず県民の支えが伝統となって、教育県としての定着化がはかられてきたのである。長野県民の教育尊重や教員尊重の気風構築の過程も見逃せないが、望まれる教員の養成や教員の継続教育の工夫がどのようであったかについても、知っておく必要がある。長野県の場合、教員の身近な研修等を目的とした教育会その他、全県的な職能団体としての信濃教育会があり、教員の継続的な資質向上に有効に働いている。前者は、各郡市に置かれ、具体的な内容に係わるもののみならず伝統を支える心が磨かれる機会になっていたと聞く。後者は、明治十九年(一八八六)年創立であり、前身は長野教育談会、長野県の教育の刷新と充実に目的とし、県内の小中学校の教職員が会員となり、会費収入と諸出版事業等を財基盤とした社団法人

「意見を待ちます」 「教育委員会からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。 「ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。 送付先 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15 杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員会への意見」あて ホームページ http://www.city.suginami.tokyo.jp/ (場所:「生活ガイド」 「子供」教育 「教育委員会からの発信」)

郷土博物館特別展「杉並に学校が誕生したころ~明治期前半に公立学校の原点をさぐる~」 明治8年に杉並に最初の学校が開校して130年。節目の年にあたり、開校後どのようにして公立学校が地元に着定していったのか、寺子屋を母体とする家塾・私学との関係にも注目しながらご紹介します。展示期間中にはフロアトークを始め、様々な関連行事も予定しています。

子どもの居場所づくり新プラン地域子ども教室推進事業

杉並第一小学校『すぎっ子くらぶ』はこんなところです！

文部科学省が推進している「子どもの居場所づくり新プラン地域子ども教室推進事業」。これは、地域の方の協力を得ながら学校等を活用して、計画的に子どもの居場所を整備するものです。

杉並区でも「子どもの居場所づくり杉並実行委員会」を設置し、学校を使いたいくつもの子どもの活動拠点を提供しています。

杉並区で最初に活動を開始した杉並第一小学校の『すぎっ子くらぶ』にお邪魔し、子どもたちの放課後の様子取材しました。「ただいまー！」元気な声が小学校の視聴覚室に次々と聞こえてきます。現在69名の子どもが『すぎっ子くらぶ』に登録しています。子どもたちは、学校の視聴覚室、図書室、校庭、体育館で様々な放課後の遊びを展開しています。また、大きな楽しみのおやつ。3時になるとスタッフが子どもたちに振り分けてくれます。この日もおいしいお菓子を食べながら、学年関係なくおしゃべりが弾む子どもたちの姿が見られました。

3時15分を過ぎると子どもたちは一斉に校庭へ駆け出していきます。「すぎっ子さん」(ここでは子どもたちはこう呼ばれています)は外で遊ぶのが大好き。

まだまだ気温は低いですが、そんなことは気にせず大縄やサッカーで体を動かします。

『すぎっ子くらぶ』のスタッフは総勢10名。いっしょに遊んだり話したり、時には注意したりしながら子どもたちと打ち解けていったそうです。「子どもたちが大勢集まって楽しく遊べる場所をつくりたかったんです。」拠点リーダーである伴野博美さんは話してくれました。

活動を始めてから5ヶ月、『すぎっ子くらぶ』は学校や保護者にもすっかり浸透し、まさに放課後の子どもたちの楽しく安全な居場所となっています。



『すぎっ子くらぶ』の様子。視聴覚室や校庭で子どもたちは楽しんでいます。



学校給食調理業務の新規委託校について

教育委員会では行財政改革の一環として、平成13年9月から学校給食調理業務の民間委託(自校調理方式)を進めています。

平成17年度新規に委託する学校は杉並第四小、和泉小、杉森中、和泉中の4校です。

これにより、来年度は、区立学校68校の約3分の1の23校(小学校12校、中学校11校)が委託となります。

委託校の様子

1回に使用できる食器の点数増加や箸とスプーン等の併用により食べやすくなったこと、おかずの組合せが豊富になったことなどで、児童・生徒から好評を得ています。

また、学校関係者や保護者、受託会社の代表などで構成した「学校給食運営協議会」が設置され、相互の信頼を深め、保護者や児童・生徒の声を生かしながら、楽しい給食作りを目指しています。

平成15年度の経費削減効果

委託を実施しなかったと仮定した場合の人員費(平成15年度の決算値による1校あたりの平均人員費×実施校数)と委託経費を比較し、節減額を算出した結果、14校で約1億9千100万円(1校あたり約1360万円)の経費を削減することができました。こうした効果の一部は、教育のその他の施策の充実に役立ててまいります。

今後も、より安全でおいしく、そして楽しい学校給食の提供に取り組んでまいりますので、区民の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：学務課

桃井第五小学校の校庭を全面芝生化

杉並区はエコスクールの推進に積極的に取り組んでいます。校庭緑化もその取り組みの一環です。

平成16年度は、桃井第五小学校の校庭を全面芝生化しました。

既に実施している和泉小学校では、子どもの体力面、情緒面等において効果が現れています。

桃五小でも校庭の芝生を活用し、より活発な学習活動を行っていきます。3月中旬には芝生の養生も終了し、晴れて一面芝生の校庭を使うことができるようになります。学校では、芝生の校庭を歓迎する「芝生開きの会」なども子どもたちの企画で行われる予定です。

これまでも桃五小の子どもたちは、校庭に植えたものと同じ芝生をプランターで育てたり、芝生とどのように関わっていくかを全校で学習したりしてきました。

今後は、芝生を通して環境について学んだり、子どもたちが自ら芝刈りしたりと、芝生との触れあいをすすめていきます。また、子どもたちだけでなく地域の皆さんにもご協力頂きながら、芝生の維持に努めていきます。



芝生をかけまわる子どもたちの姿がもうすぐ見られます

教育委員会の動き

16年12月～17年2月

【教育委員会開催状況】

| | |
|------|-----|
| 定例会 | 4回 |
| 臨時会 | 1回 |
| 議案 | 18件 |
| 報告事項 | 27件 |

【主な案件】

- は審議、は報告事項
- 「杉並区教育ビジョン」について
- 杉並区学校運営協議会規則
- 学校運営協議会を置く学校の指定について
- 平成17年度における学校給食調理業務の民間委託について
- 小学校英語教育に係る構造改革特区の認定申請について
- 平成17年度杉並区教育委員会重点施策について
- 杉並区児童生徒問題行動等サポートチームの設置について
- 公共施設予約システム(体育施設)の開始について
- 平成16年度杉並区文化栄誉顕彰について
- 平成16年度杉並区スポーツ栄誉顕彰について

富士見丘小学校

演劇を取り入れた「総合的な学習の時間」

1年間の成果を発表しました

「さよならきのう まっててあした」富士見丘小学校の体育館からピアノのメロディにのった元気な歌声が聞こえてきます。2月25日、この日は「6年生を送る会」。富士見丘小6年生61名が1年間の演劇を取り入れた「総合的な学習の時間」の成果、演劇『さよならきのうまっててあした』を発表しました。

平成16年度からスタートしたこの授業。日本劇作家協会の協力により実現しました。授業の初日では、劇団扉座の方々と心と体を開放することを体験した子どもたち。『さよなら先生』という劇にも挑戦しました。初めてのことでやや緊張気味だった6年生の顔が印象的でした。

鴻上尚史さんと行った「シアターゲーム」(身体を使った表現を学習する)吉田日出子さんとの朗読...子どもたちは演劇授業のなかで数々の貴重な体験を重ねてきました。

秋には学習発表会を行い、一人ひとりが自分の考えやイメージを発表し合いました。発表会では、自分の思いを自由に表現することや友達の言葉から何かを感じることを学びました。

12月末から始まった卒業公演への準備。たくさんの練習を重ね、本番当日。劇中で歌われている5曲の歌、これらは6年生の卒業についての思いを歌詞にしたものです。「卒業ってなぜ?」「卒業ちょっと待って!」など子どもたちの正直な気持ちが歌を通して伝わってきます。6年生一人ひとりが、自分の言葉で、自分の思いを、在校生、保護者や地域の方々、この授業に関わってくれた人々へ向けて演劇のなかで発表しました。

演劇を取り入れた授業は、来年度以降も富士見丘小学校で継続的に展開されていきます。



0ペン知る

「ロボット杉並21」を開催します
ロボット・コンテストや開発ロボットの展示、ロボット絵画・コンテストなど内容は盛りだくさん!
ぜひ、足をお運びください。
日時: 3月19日(土)午前9時から午後5時 問い合わせ先: 科学館 ☎ 3396-4391



古紙配合率100%再生紙を使用しています。